

投資先の 値下がりが怖い!

投資初心者のAさんは、将来の資産形成のため、投資について勉強することにしました。
Aさんは投資に対してこのようなイメージを持っていました。



では、そんなAさんのイメージについて、シミュレーション結果をもとに考えてみましょう。

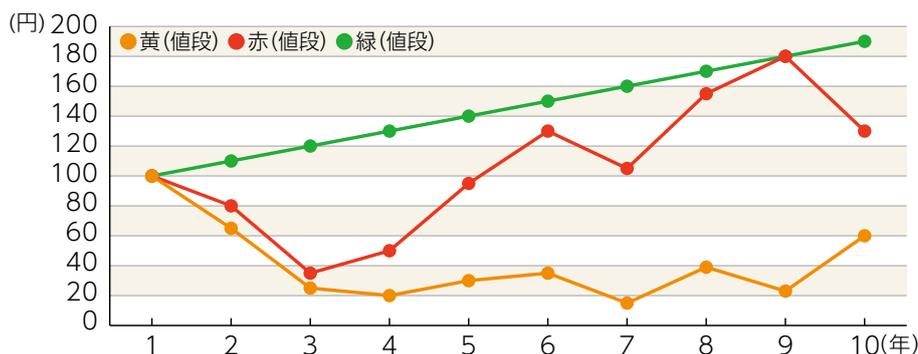
問題

「黄●」「赤●」「緑●」のような値動きをする3つの投資商品があります。

積立投資 で購入した場合、

10年目に一番成績が良かったのはどの投資商品でしょうか?

値動きの推移(10年) それぞれの値動きは100円から始まり図の通りとなります。



積立投資

毎年1回10万円分

それぞれの商品を購入し、
それを10回続けた場合*

*10年目は購入後即売却したものとします。

答え

黄色 ●

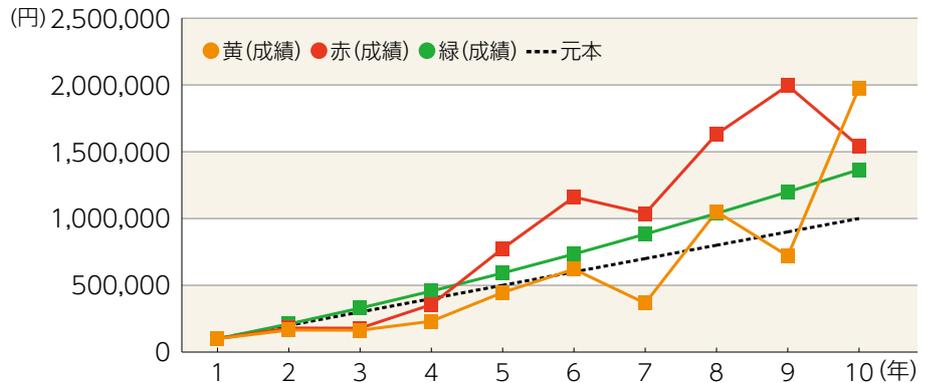
?

投資を始めてから
いきなり値下がりして
いる赤色と黄色が、
何で緑色の成績を
上回っているの？

Aさん



積立投資の成績推移(10年)



「答え」と、Aさんの疑問について解説いたします。

ドルコスト平均法

価格が変動する商品について、

「常に一定の金額で」「定期的に(コツコツと)」購入していく方法

購入金額を一定に保つことで、価格が低い時は購入できる「量」が増加し、価格が高い時は購入できる「量」が減少します。

このため、「一括購入」に比べて全体の平均購入単価を平準化させる効果があります。

したがって、長期的な資産形成を行っていくうえで、効果的な方法の一つと考えられています。

(注)ドルコスト平均法は万能ではありません。将来の収益を約束したり、相場下落時における損失を防止するものではありません。

積立投資はこのドルコスト平均法を活用しています。つまり積立投資の成績は以下のように表すことができます。

投資の成績 = 「購入量(合計)」 × 最終価格

実際の累計購入量を見てみると、右図のようになります。

黄色が圧倒的に累計購入量が多く、
投資の成績にプラスに働いていることが分かります。

投資先の値下がりには、購入できる量が増え、
投資の成績にプラスの効果を生むことが分かりました。

累計購入量の推移(10年)



積立投資の ポイント

- ① まとまったお金がなくても積立投資は少額から始めることができる
- ② 値下がりには怖くない⇒なぜなら量が多く買える=投資の成績にプラス効果
- ③ 始める時期よりも「早く始めて長く続けることが大切」

*「ドルコスト平均法」は、万能ではありません。損失をこうむることもあります。

<取扱保険会社>

東京海上日動あんしん生命保険株式会社

<取扱代理店>